

平成 27 年度前期「学生による授業評価」 結果の分析（学部・別科）

2016/3/7
教育支援室

1 概要

1.1 調査の概要

平成 27 年度前期末に行われた「学生による授業評価」アンケート調査の結果を報告します。同調査は平成 15 年度前期から毎学期実施されていますが、設問は平成 26 年度後期から改定されています（表 1）。

表 1 平成 26 年度後期からの変更点

	平成 26 年度後期以降	平成 26 年度前期以前
対象授業	卒業研究等を除く全授業	各教員の選択する授業
評価項目 （設問）	・ 学生自身の学習に対する評価（A1—A5） ・ 授業の全体構成に対する評価（B1—B5） ・ 授業方法の要素に対する評価（C1—C9） （全 19 問）	・ 授業方法に対する評価（問 1-1—10） ・ 授業全体に対する評価（問 2） （全 11 問）

1.2 結果の概要

対象授業全体における総回答者数¹は 10,187、回答率は 88.5%でした（表 2）。

表 2 回答状況

総履修者数	総回答者数	回答率
11,515	10,187	88.5%

1.2.1 学生自身の学習に対する評価結果（設問 A1—A5，図 1）

学生の学習に関しては、授業への出席率が高く（A1）、授業参加の積極性について 1 割強の否定的な評価も見られましたが（A2）、シラバスの目標達成度（A4）や学習意欲の向上（A5）についてはおお

¹ 無効な回答を一部に記入したものも含む。

むね肯定的に評価されました。また、**授業 1 回に対する授業外学習時間の平均²は 53 分**でした（A3）。いずれも前回調査と比べて高評価が並ぶ結果となりました。

授業内外の主体的・能動的学修（**アクティブ・ラーニング**）をいっそう促進することで、引き続き高評価を維持・向上することが期待されます。

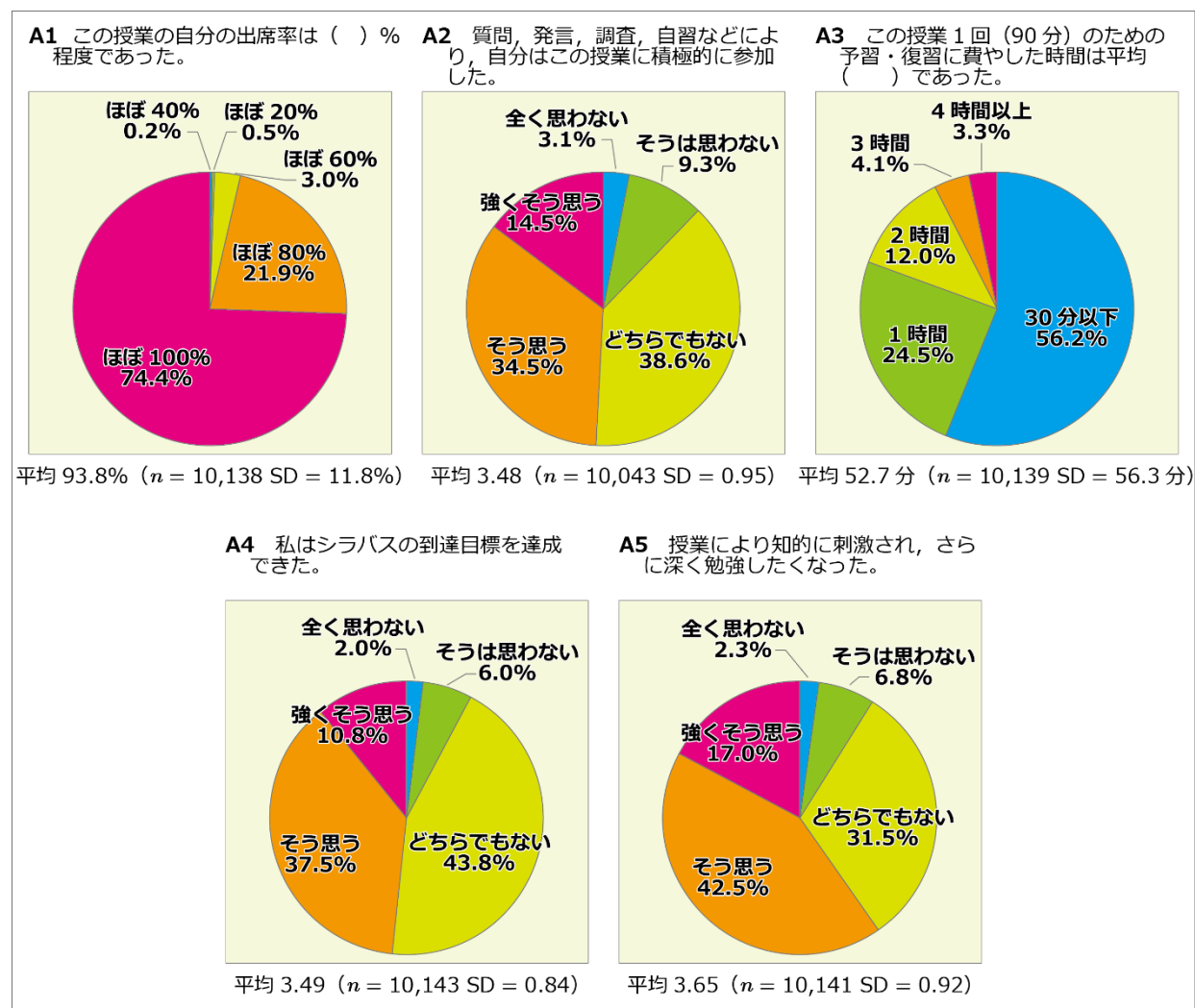


図 1 学生自身の学習に対する評価結果³

1.2.2 授業の全体構成に対する評価結果（設問 B1—B5，図 2）

授業全体に対する評価についても、7 割以上の回答者が全体として満足できるものであったと「思う」とした（B3）ほか、単位数の妥当性（B1）、シラバスの明快性（B2）でも高評価となりました。とくに、共同獣医学課程に限定した設問（B4、B5）は前回と比べて評価が大幅に改善しました。

² 算出方法は後述。

³ 1 全く思わない、2 そうは思わない、3 どちらでもない、4 そう思う、5 強くそう思う、として集計（以下同）。

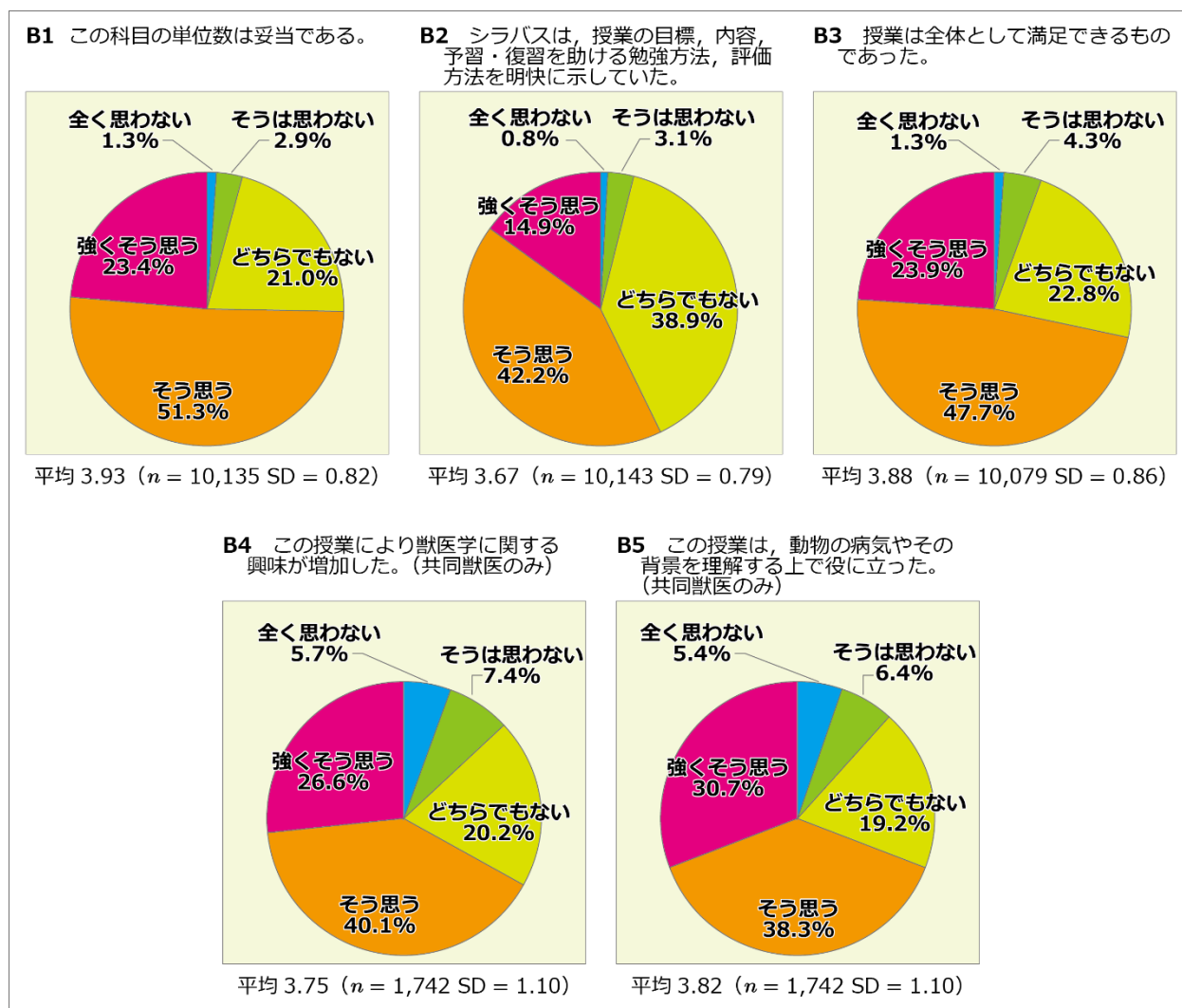


図 2 授業の全体構成に対する評価結果

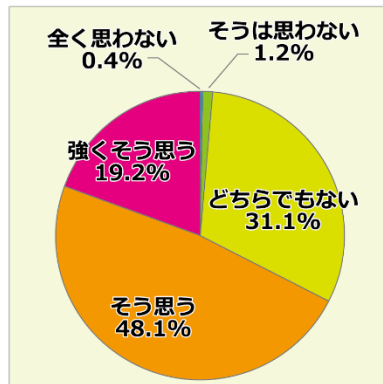
1.2.3 授業方法の要素に対する評価結果 (C1—C9, 図 3)

授業方法についても肯定的で、シラバスに沿った進行 (c1)、授業の作業量 (c2)、教員の説明のわかりやすさ (c4)・熱意 (c5)・聞き取りやすさ (c6)、学生への対応 (c8)、教材・機器の使用 (c9) についていずれも高い評価となりました。また、授業難易度も適切⁴と評価されました (c3)。

高評価ながらも他と比較してやや低評価となった設問 c7 からは、やはり **学生の授業参加への促進が求められる**と解釈することができそうです。

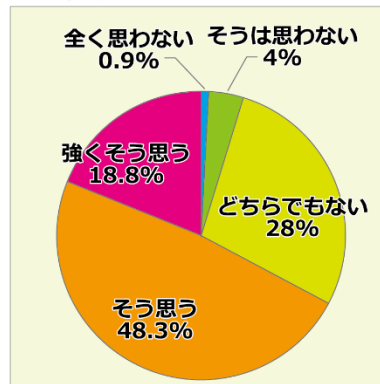
⁴ 1 極めてやさしい, 2 やさしい, 3 適切, 4 難しい, 5 極めて難しい, として集計。

C1 授業はシラバスに沿って行われていた。



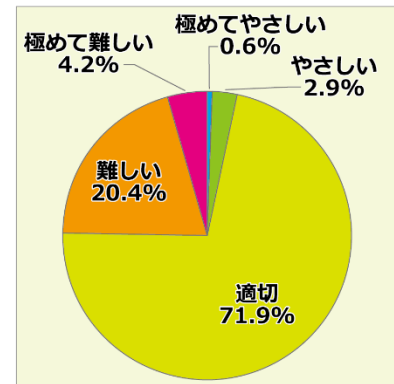
平均 3.84 ($n = 10,147$ SD = 0.75)

C2 授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。



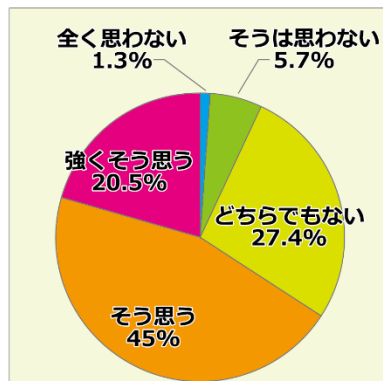
平均 3.80 ($n = 10,100$ SD = 0.82)

C3 授業内容の難易度は適切であった。



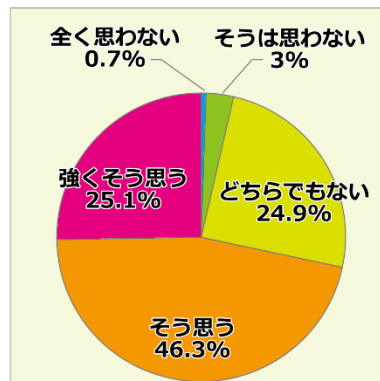
平均 3.25 ($n = 10,123$ SD = 0.60)

C4 教員の説明はわかりやすかった。



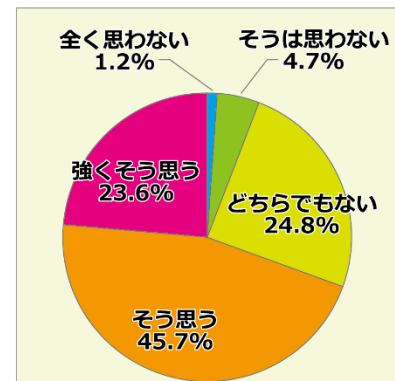
平均 3.78 ($n = 10,141$ SD = 0.88)

C5 教員の熱意が伝わってきた。



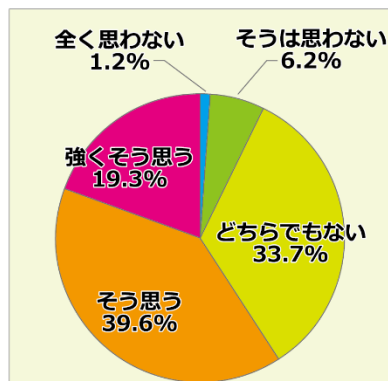
平均 3.92 ($n = 10,153$ SD = 0.82)

C6 教員の話し方は聞き取りやすかった。



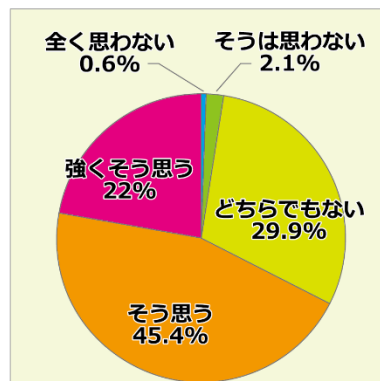
平均 3.86 ($n = 10,146$ SD = 0.87)

C7 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。



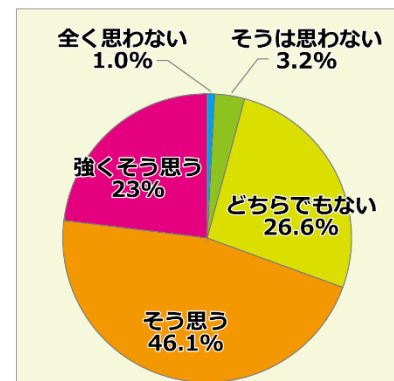
平均 3.70 ($n = 10,146$ SD = 0.89)

C8 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。



平均 3.86 ($n = 10,147$ SD = 0.80)

C9 黒板、教科書、プリントや AV 機器の使い方が効果的であった。



平均 3.87 ($n = 10,152$ SD = 0.84)

図 3 授業方法の要素に対する評価結果

2 分析

2.1 授業外学習時間

上述のとおり、授業 1 回に対する授業外学習時間は平均 53 分で、これは「30 分以下」を 15 分、「4 時間以上」を 4 時間とした場合の推定値です。「30 分以下」を 30 分または 0 分とした場合の平均は、それぞれ 62 分または 44 分となります⁵。いずれの場合も平均だけで見る限り

「30 分以下」の学習時間	平均学習時間
15 分	52.7 分
30 分	61.7 分
0 分	44.3 分

は、**授業 1 回に少なくとも 40 分強の準備学習が行われていると評価** できます。前回の結果と比べ、平均値で 8 分程度の改善が見られます。

ただし、**6 割弱の学生が「30 分以下」で準備学習をほとんど行っていない可能性** もあり、残り 4 割の学生が平均値を「支えている」状況には変わりありません。もちろん、単位数のみで準備学習時間を機械的に評価することや、アンケート調査のみから実態を推測することには議論の余地はありますが、個々の授業における**準備学習の促進強化が引き続き求められる** 結果といえるでしょう。

「30 分以下」を 15 分とした場合の、学年別、所属（課程）別、授業形態別の授業外学習時間は、それぞれ、図 4、図 5、図 6 のようになります（比較のため前回の結果も併記）。

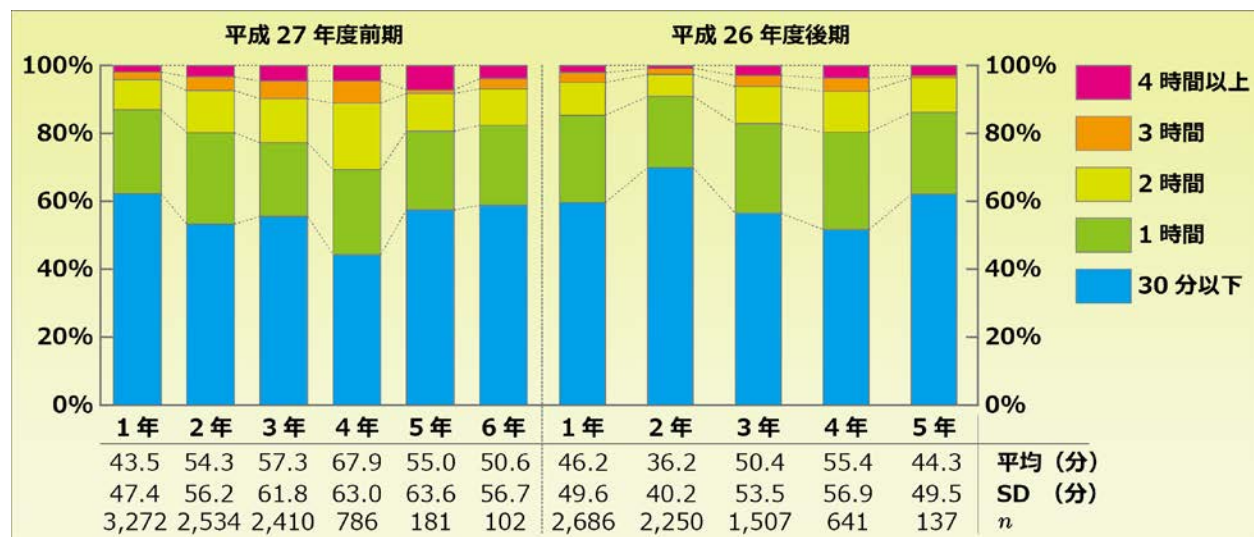


図 4 授業外学習時間（学年別の比較）⁶

⁵ なお、「4 時間以上」の割合はわずかであり、この階級値を変えても平均値に大きな変動はない。

⁶ 平成 26 年度後期の 6 年生は、回答数が少ないため表示していない。

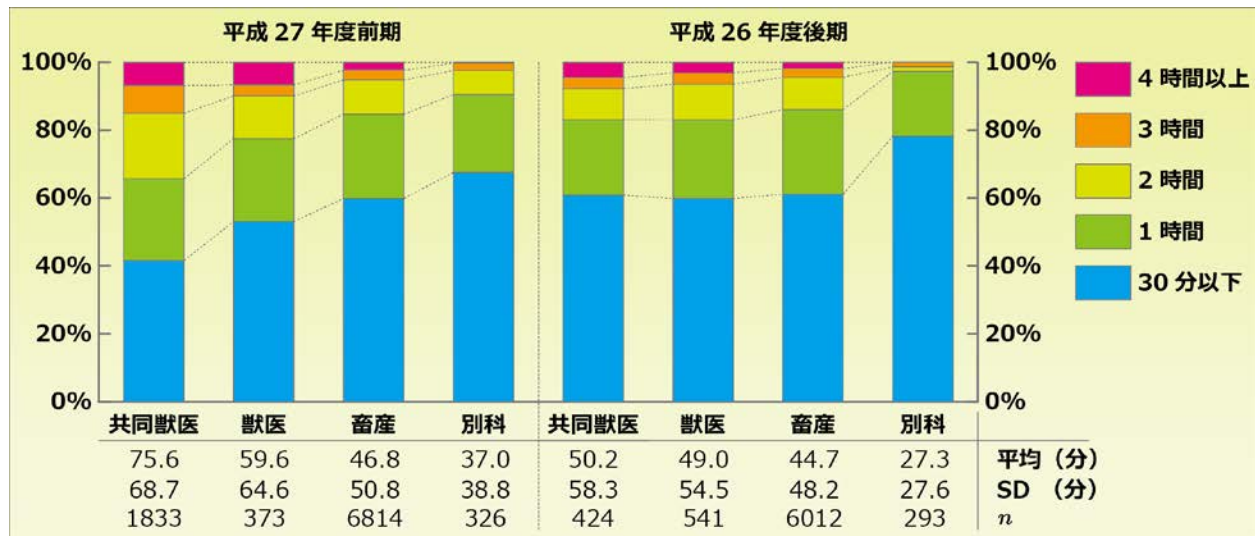


図 5 授業外学習時間（所属別の比較）

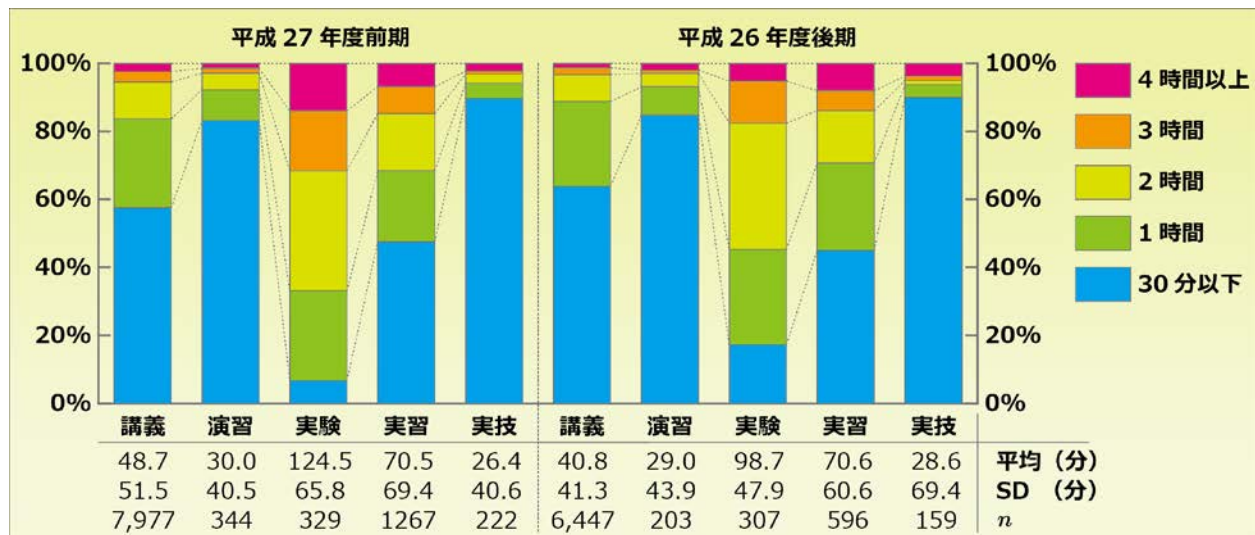


図 6 授業外学習時間（授業形態別の比較）

学年別にみると、今期は **1 年生の学習時間がやや短く、4 年生の学習時間が長い** ことがわかります。所属（課程）別では、畜産科学課程が一定の学習量を示しているものの、**（共同）獣医学課程との間には大きな差** が見られます。別科の授業外学習時間は前回結果より改善しているものの、短いことがわかります。

さらに授業形態別の比較では、実験と実習の授業外学習時間が長く、特に実験は平均で 2 時間を超えています。単位数の規定上は、演習・実験・実習・実技よりも、講義に対する授業外学習時間の方が長く求められますが、結果としては逆転が起こっています。仮にこのことが本来必要な学習時間の確保に影響するのであれば、**単位数を目安とする学修の周知や、課題量の適切な設定なども必要** といえるでしょう。

2.2 設問間の関係

各設問の対する回答間の相関係数⁷は、のとおりです。

	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
A1	1.00	.23	.04	.18	.17	.11	.10	.15	.17	.14	.09	.08	-.02	.09	.11	.09	.11	.12	.08
A2	.23	1.00	.25	.53	.45	.26	.38	.42	.44	.38	.36	.31	.02	.34	.34	.33	.46	.40	.32
A3	.04	.25	1.00	.15	.14	-.03	.11	.07	.22	.25	.09	.00	.21	.05	.08	.05	.19	.13	.09
A4	.18	.53	.15	1.00	.57	.42	.55	.50	.42	.33	.53	.42	-.04	.42	.39	.39	.44	.43	.39
A5	.17	.45	.14	.57	1.00	.49	.49	.65	.74	.64	.46	.44	-.04	.53	.48	.48	.45	.48	.46
B1	.11	.26	-.03	.42	.49	1.00	.56	.55	.38	.33	.52	.54	.00	.45	.44	.44	.37	.44	.45
B2	.10	.38	.11	.55	.49	.56	1.00	.59	.41	.37	.70	.55	.04	.50	.47	.48	.50	.51	.49
B3	.15	.42	.07	.50	.65	.55	.59	1.00	.65	.59	.57	.55	-.04	.66	.60	.62	.54	.58	.58
B4	.17	.44	.22	.42	.74	.38	.41	.65	1.00	.87	.42	.38	.13	.52	.48	.49	.47	.49	.47
B5	.14	.38	.25	.33	.64	.33	.37	.59	.87	1.00	.41	.35	.16	.49	.47	.46	.44	.48	.46
C1	.09	.36	.09	.53	.46	.52	.70	.57	.42	.41	1.00	.63	.05	.52	.51	.51	.50	.54	.52
C2	.08	.31	.00	.42	.44	.54	.55	.55	.38	.35	.63	1.00	-.03	.53	.48	.50	.45	.50	.51
C3	-.02	.02	.21	-.04	-.04	.00	.04	-.04	.13	.16	.05	-.03	1.00	-.06	.04	-.02	.04	.04	.03
C4	.09	.34	.05	.42	.53	.45	.50	.66	.52	.49	.52	.53	-.06	1.00	.70	.76	.58	.62	.63
C5	.11	.34	.08	.39	.48	.44	.47	.60	.48	.47	.51	.48	.04	.70	1.00	.74	.61	.66	.61
C6	.09	.33	.05	.39	.48	.44	.48	.62	.49	.46	.51	.50	-.02	.76	.74	1.00	.64	.68	.66
C7	.11	.46	.19	.44	.45	.37	.50	.54	.47	.44	.50	.45	.04	.58	.61	.64	1.00	.74	.59
C8	.12	.40	.13	.43	.48	.44	.51	.58	.49	.48	.54	.50	.04	.62	.66	.68	.74	1.00	.68
C9	.08	.32	.09	.39	.46	.45	.49	.58	.47	.46	.52	.51	.03	.63	.61	.66	.59	.68	1.00

図7 設問間の相関係数（便宜上 0.4 以上 0.5 未満, 0.6 未満, 0.7 未満, 0.7 以上で分類）

この結果からは、C4（説明のわかりやすさ）、C5（教員の熱意）、C6（説明の聞き取りやすさ）間や、C7（教員による参加の促進）、C8（学生対応）間などに比較的強い相関があることがわかります。これらに限らず、設問 C（授業方法の要素に対する評価）の結果間にはおおむね中程度以上の相関があり、いずれの授業方法・要素もおおむね共通する評価が与えられているといえます。

設問 B（授業全体に対する評価）間、および設問 B、C 間の一部にもやや強い相関が見られ、授業方法・要素の評価が、授業全体の評価に結びついているということが出来ます。特に、B3（授業全体の満足度）は C4 と比較的強く相関しています。授業方法・要素の個々の改善、とりわけ説明のわかりやすさが、授業全体の満足度に影響している様子がうかがえます。

設問 A（学生の学習に対する評価）と他の設問との間にも一部に相関がみられますが、A1（出席率）、A2（授業参加の積極性）や A3（授業外学習量）と他の項目との相関が弱い、もしくはほとんど相関が見られません。

以上の結果は前回とほぼ同様の傾向を示しています。学生自身の学習に対する評価と授業に対する評価が結びつき、より主体的・能動的な学習が促進される授業の構成が求められます。

⁷ Spearman の順位相関係数。サンプル数は設問間によりすべて異なるため、省略する。

2.3 前回以前との比較

平成 26 年度前期以前とでは設問が異なるため直接の比較はできませんが、参考として内容の近いと考えられる設問（表 4）結果に限って、これまでの推移の様子を表したものが図 7 です。各項目はおおむね全体評価に沿う推移を示し、**本授業評価開始から現在まで全体としては緩やかに上昇**しているようです。

表 3 経年変化の比較項目

番号	平成 26 年度前期までの設問	番号	平成 26 年後期の設問
問 1-7	この授業はテキストや配布資料などの教材を有効に使っていた	C9	黒板，教科書，プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
問 1-8	教員の説明は聞きやすく，よく理解できた	C6	教員の話し方は聞き取りやすかった。
問 1-9	教員の板書やプレゼンテーション（スライド）は見やすかった	C9	黒板，教科書，プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
問 2	授業全体の評価（10 段階を 5 段階に換算）	B3	授業は全体として満足できるものであった。

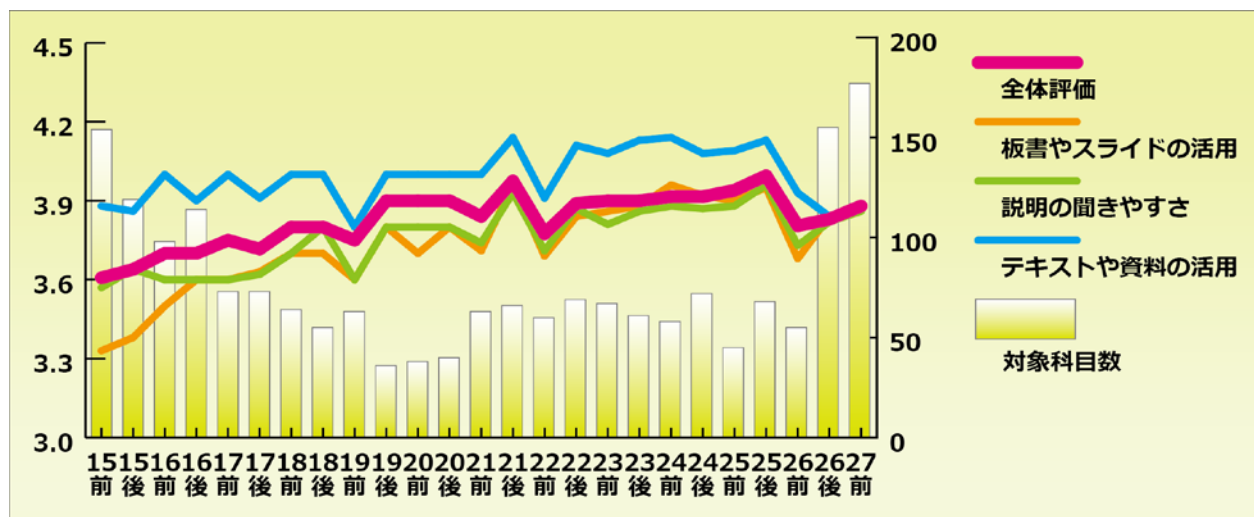


図 8 これまでの授業評価との比較

参考 A 設問と集計結果の詳細

本アンケートの設問および尺度は、それぞれ表 3、表 4 の通りで、結果を図 9 に示します。なお、平成 26 年度前期以前の設問は表 5 の通りで、評価尺度は問 1 が 5 段階、問 2 が 10 段階です。

表 4 評価項目の設問

番号	設問文	番号	設問文
A1	この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。	C1	授業はシラバスに沿って行われていた。
A2	質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	C2	授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。
A3	この授業 1 回（90 分）のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった。	C3	授業内容の難易度は適切であった。
A4	私はシラバスの到達目標を達成できた。	C4	教員の説明はわかりやすかった。
A5	授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	C5	教員の熱意が伝わってきた。
B1	この科目の単位数は妥当である。	C6	教員の話し方は聞き取りやすかった。
B2	シラバスは、授業の目標、内容、予習・復習を助ける勉強方法、評価方法を明快に示していた。	C7	教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。
B3	授業は全体として満足できるものであった。	C8	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。
B4	この授業により獣医学に関する興味が増加した。※共同獣医学課程の学生のみ回答。対象科目は専門科目（必修科目）	C9	黒板、教科書、プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
B5	この授業は、動物の病気やその背景を理解する上で役に立った。※共同獣医学課程の学生のみ回答。対象科目は専門科目（必修科目）		

表 5 評価項目の尺度

番号	尺度
A1	1「ほぼ 20%」、2「ほぼ 40%」、3「ほぼ 60%」、4「ほぼ 80%」、5「ほぼ 100%」
A3	1「30 分以下」、2「1 時間」、3「2 時間」、4「3 時間」、5「4 時間以上」
C3	1「極めてやさしい」、2「やさしい」、3「適切」、4「難しい」、5「極めて難しい」
その他	1「全く思わない」、2「そうは思わない」、3「どちらでもない」、4「そう思う」、5「強くそう思う」

表 6 平成 26 年度前期以前の設問

番号	設問文	番号	設問文
問 1	授業評価項目の評価	問 1-6	この授業の開始時間、終了時間は適切だった
問 1-1	この授業の目標や目的は明確だった	問 1-7	この授業はテキストや配布資料などの教材を有効に使っていた
問 1-2	この授業の内容は授業科目名と一致していた	問 1-8	教員の説明は聞きやすく、よく理解できた
問 1-3	この授業の内容は普通の努力で理解できるレベルだった	問 1-9	教員の板書やプレゼンテーション（スライド）は見やすかった
問 1-4	この授業の内容はよく整理されていた	問 1-10	教員は授業の準備を十分にしていた
問 1-5	この授業の内容に興味や面白みを感じた	問 2	授業全体の評価

	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9		
全体	4.69	3.48	1.74	3.49	3.65	3.93	3.67	3.88	3.75	3.82	3.84	3.80	3.25	3.78	3.92	3.86	3.70	3.86	3.87		
	0.59	0.95	1.04	0.84	0.92	0.82	0.79	0.86	1.10	1.10	0.75	0.82	0.60	0.88	0.82	0.87	0.89	0.80	0.84		
	10138	10043	10139	10143	10141	10135	10143	10079	1742	1742	10147	10100	10123	10141	10153	10146	10146	10147	10152		
学年別	1	4.77	3.45	1.57	3.46	3.65	3.97	3.59	3.87	3.40	3.37	3.76	3.75	3.20	3.71	3.89	3.79	3.60	3.80	3.80	
		0.56	0.97	0.89	0.88	0.95	0.79	0.80	0.89	1.26	1.21	0.76	0.82	0.60	0.90	0.82	0.90	0.93	0.81	0.86	
		3270	3255	3272	3275	3270	3268	3271	3246	532	531	3269	3255	3257	3268	3272	3271	3272	3271	3271	
	2	4.68	3.49	1.77	3.52	3.65	3.93	3.74	3.89	3.89	4.01	3.91	3.85	3.30	3.80	3.92	3.87	3.71	3.83	3.94	
		0.61	0.96	1.03	0.83	0.90	0.85	0.78	0.85	0.99	1.02	0.73	0.81	0.61	0.88	0.83	0.87	0.89	0.80	0.81	
		2538	2506	2534	2539	2538	2535	2538	2523	292	292	2542	2532	2538	2535	2540	2538	2538	2543	2541	
	3	4.67	3.49	1.82	3.52	3.66	3.93	3.70	3.86	3.97	4.11	3.88	3.81	3.24	3.78	3.91	3.86	3.70	3.87	3.84	
		0.56	0.92	1.13	0.79	0.87	0.77	0.77	0.84	1.04	1.04	0.75	0.79	0.58	0.86	0.81	0.84	0.84	0.76	0.83	
		2408	2389	2410	2417	2411	2415	2421	2405	509	510	2420	2404	2409	2420	2419	2419	2421	2418	2421	
	4	4.52	3.49	2.02	3.42	3.66	3.81	3.70	3.96	3.82	3.93	3.89	3.79	3.31	3.95	4.02	4.04	3.91	4.07	4.00	
		0.62	0.90	1.15	0.76	0.87	0.86	0.80	0.81	0.90	0.88	0.74	0.87	0.62	0.83	0.79	0.81	0.86	0.78	0.83	
		785	766	786	784	788	785	786	782	392	392	785	779	786	784	784	784	785	784	785	
	5	4.74	3.51	1.77	3.55	3.71	3.97	3.72	4.06	.	.	3.88	4.04	3.13	4.05	4.17	4.17	4.09	4.21	4.12	
		0.54	0.98	1.15	0.94	0.95	0.90	0.92	0.83	.	.	0.89	0.87	0.58	0.85	0.82	0.83	0.85	0.80	0.84	
		181	180	181	179	180	179	178	179	0	0	179	181	181	181	181	181	181	181	180	
	6	4.61	3.42	1.70	3.57	3.60	3.92	3.63	3.85	.	.	3.86	3.89	3.02	3.83	3.97	3.97	3.71	3.92	3.82	
		0.53	0.95	1.04	0.85	0.90	0.84	0.76	0.71	.	.	0.68	0.74	0.54	0.75	0.71	0.74	0.77	0.70	0.65	
		102	101	102	102	102	102	102	102	0	0	102	102	102	102	102	102	102	102	102	
	所属別	共同 獣医	4.80	3.58	2.15	3.49	3.80	3.82	3.68	3.98	3.75	3.82	3.85	3.80	3.33	3.89	4.02	3.96	3.87	4.00	3.96
			0.47	0.91	1.24	0.78	0.89	0.84	0.77	0.85	1.10	1.10	0.73	0.81	0.64	0.86	0.81	0.85	0.85	0.77	0.82
			1828	1814	1833	1830	1831	1829	1832	1821	1742	1742	1831	1823	1830	1832	1832	1832	1832	1833	1833
獣医		4.67	3.43	1.86	3.44	3.63	3.85	3.62	3.90	.	.	3.79	3.87	3.17	3.91	4.05	4.04	3.90	4.02	3.94	
		0.53	0.97	1.17	0.89	0.92	0.86	0.83	0.83	.	.	0.78	0.86	0.60	0.82	0.77	0.79	0.83	0.79	0.81	
		373	370	373	371	372	371	370	369	0	0	371	372	372	372	373	373	373	373	372	
畜産		4.68	3.44	1.63	3.49	3.62	3.97	3.67	3.86	.	.	3.84	3.80	3.22	3.75	3.89	3.82	3.63	3.81	3.84	
		0.61	0.96	0.94	0.84	0.92	0.80	0.80	0.87	.	.	0.75	0.82	0.59	0.88	0.82	0.88	0.90	0.80	0.84	
		6816	6749	6814	6826	6818	6815	6824	6773	0	0	6824	6792	6804	6818	6826	6825	6827	6824	6828	
別科		4.59	3.67	1.45	3.58	3.57	3.89	3.70	3.83	.	.	3.85	3.85	3.26	3.68	3.81	3.81	3.70	3.74	3.81	
		0.57	0.89	0.75	0.84	0.84	0.78	0.76	0.82	.	.	0.75	0.78	0.57	0.83	0.78	0.85	0.83	0.78	0.80	
		326	323	326	327	326	326	328	326	0	0	328	324	325	327	326	325	326	328	326	
授業形態別	講義	4.86	3.85	1.29	3.77	3.98	3.98	3.74	4.21	4.38	4.23	3.88	3.96	3.10	4.02	4.00	4.00	3.92	4.12	4.06	
		0.37	0.83	0.75	0.75	0.86	0.80	0.76	0.76	0.67	0.74	0.72	0.77	0.49	0.80	0.79	0.84	0.81	0.76	0.77	
		345	342	344	344	345	345	345	344	176	177	344	342	344	344	345	345	345	345	344	
	演習	4.65	3.35	1.67	3.41	3.58	3.94	3.64	3.81	3.52	3.62	3.81	3.78	3.26	3.73	3.87	3.81	3.61	3.80	3.86	
		0.62	0.94	0.96	0.83	0.92	0.78	0.80	0.87	1.16	1.17	0.75	0.81	0.61	0.89	0.82	0.88	0.90	0.80	0.84	
		7980	7900	7977	7982	7981	7973	7984	7931	1168	1166	7988	7955	7973	7982	7988	7983	7989	7986	7994	
	実験	4.80	4.00	1.22	3.78	3.50	3.75	3.69	4.04	2.41	2.44	3.91	3.78	3.04	3.88	4.18	4.05	4.01	3.95	3.44	
		0.50	0.95	0.74	0.90	1.01	1.07	0.88	0.87	0.89	0.97	0.78	0.88	0.59	0.88	0.80	0.84	0.85	0.82	0.95	
		223	222	222	223	221	221	221	221	27	27	223	219	219	221	223	223	223	222	221	
	実習	4.89	3.99	3.06	3.74	3.85	3.33	3.81	4.15	4.37	4.45	4.04	3.80	3.43	3.89	4.27	4.05	4.11	4.07	4.06	
		0.44	0.87	1.13	0.86	0.94	1.27	0.79	0.87	0.67	0.65	0.76	0.93	0.65	0.95	0.82	0.84	0.82	0.81	0.81	
		329	322	329	328	329	330	329	326	38	38	329	327	329	328	330	330	329	330	330	
実技	4.83	3.97	2.06	3.82	4.00	4.01	3.84	4.18	4.23	4.36	3.99	3.89	3.18	3.98	4.07	4.02	4.02	4.08	3.92		
	0.41	0.80	1.25	0.74	0.77	0.82	0.76	0.74	0.68	0.65	0.75	0.83	0.54	0.79	0.77	0.82	0.76	0.74	0.79		
	1261	1257	1267	1266	1265	1266	1264	1257	333	334	1263	1257	1258	1266	1267	1265	1260	1264	1263		

図 9 設問全体の集計結果